

日本内視鏡外科学会  
2023（令和5）年度事業報告書  
（2022年10月1日から2023年9月30日まで）

1. 庶務報告

1) 会員数（2023年9月1日時点）

会員数	15,564 名
名誉理事長	2 名
名誉会長	15 名
名誉会員	23 名
特別会員	117 名
評議員	1,185 名
正会員	14,108 名
メディカルスタッフ会員	96 名
学生会員	3 名
賛助会員	15 社

2) 2023年度 役員交代

2023年12月7日 退任

坂井義治理事長、明樂重夫理事、池田徳彦理事、猪股雅史理事、  
金山博臣理事、中村廣繁理事、小澤壯治監事

2023年12月7日 就任

北出真理理事、絹笠祐介理事、竹内裕也理事、清水公裕理事、  
宮嶋哲理事、文敏景理事、池田徳彦監事、猪股雅史監事

3) 2023年度 国際名誉会員推戴

Dr. Wayne Shih-Wei Huang, Taiwan

Dr. Horacio J. Asbun, USA

Prof. Mark Lewis Wulkan, USA

4) 2023年度 特別会員等推戴

名誉理事長 1名：坂井義治氏

名誉会長 1名：松田公志氏

名誉会員 2名：明樂重夫氏、小澤壯治氏

特別会員 13名：今本治彦氏、岡島正純氏、河野匡氏、佐藤功氏、杉岡篤氏、  
鈴木眞一氏、関本貢嗣氏、多賀谷信美氏、玉木康博氏、西井修氏  
西口幸雄氏、林賢氏、三森教雄氏

2. 定款第4条(1) 会員の学術集会、学術講演会等の開催ならびに教育に関する事業

- ・第35回日本内視鏡外科学会総会(JSES2022)が宇山一朗会長のもとポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)においてハイブリッド方式で開催された。  
 現地開催期間:2022年12月8日(木)~10日(土)  
 事後オンデマンド配信期間:2022年12月22日(木)~2023年1月31日(火)
- ・内視鏡下縫合・結紮手技講習会を16回開催した。
- ・JSES手術見学プログラムを21回開催した。
- ・第27回教育セミナーおよび第1回プロクター教育セミナーを開催した。
- ・eラーニングについて、膵臓、肝臓、産科婦人科領域の新たなコンテンツ、2022年12月の教育セミナー、プロクター教育セミナーの動画を会員専用ページに掲載した。

3. 定款第4条(2) 機関誌及び論文図書等の刊行

- ・日本内視鏡外科学会雑誌(和文誌)  
 電子ジャーナルとして発刊している。  
 2022年11月10日発行 27巻6号  
 2022年12月10日発行 27巻7号 第35回日本内視鏡外科学会プログラム集  
 2023年1月10日発行 28巻1号  
 2023年3月10日発行 28巻2号  
 2023年5月10日発行 28巻3号  
 2023年7月10日発行 28巻4号  
 2023年9月10日発行 28巻5号
- ・Asian Journal of Endoscopic Surgery(英文誌)  
 電子ジャーナルとして発刊し、評議員以上の会員には配本した。  
 2022年10月発行 15巻4号  
 2023年1月発行 16巻1号  
 2023年4月発行 16巻2号  
 2023年7月発行 16巻3号

4. 定款第4条(3) 内視鏡外科の技術認定制度に関する事業

2021年から2022年において、次の表の通り認定した。

年度	泌尿器科		産科婦人科		整形外科		呼吸器外科		消化器・一般外科		小児外科	
	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新	新規	更新
2022	70	117	58	79	1	2	-	-	294	341	5	5

## 5. 定款第4条(4)内外の関係学術団体との連絡及び提携

- ・アジア内視鏡外科学会(ELSA)と日本内視鏡外科学会(JSES)との合同webinar開催  
2023年1月“Coaching in Asia”
- ・アジア内視鏡外科学会(ELSA)主催ELSA Outreach ProgramへのJSES会員派遣事業  
-2023年9月4~5日インドBariatric and Reflex 関洋介氏、青山修宇氏 参加  
-2023年9月29~30日ベトナムColorectal 西澤祐吏氏、小林壽範氏 参加
- ・アジア内視鏡外科学会(ELSA)役員  
-坂井義治理事長と国際委員会笠間和典がELSA Governorに就任  
-梅澤昭子氏がELSA Adjunctive Governorに就任
- ・2023年6月、EAES 2023にて欧州内視鏡外科学会(EAES)とJSESのジョイントシンポジウム“Recruiting and training of young laparoscopic surgeon”を実施した。
- ・2022年12月JSES 35回総会にて、米国消化管内視鏡外科学会(SAGES)とJSES)とのジョイントシンポジウム“Robotic surgery & digital surgery, and innovation”を実施した。
- ・AIS(Advances in Surgery)とのコラボレーションが決定し、“AIS Channel A coffee with...”のようなAIS Channelのイベントを会員へ紹介した。

## 6. 定款第4条(5)内視鏡外科学に関する研究及び調査

- ・2023年度のNCDデータ利用研究として2研究が採択された。  
研究代表者:松田 明久(日本医科大学付属病院消化器外科) (採択)  
研究課題名:外科医性差による腹腔鏡下大腸癌手術の短期成績の検証  
研究代表者:宇山 一朗(藤田医科大学先端ロボット・内視鏡手術学) (採択)  
研究課題名:低侵襲尾側膵切除術のラーニングカーブについての検討
- ・内視鏡外科手術に関するアンケート調査ー第16回集計結果報告ーを発行した。
- ・2023年度 大上賞受賞者:北出 真理氏(順天堂大学付属病院 産婦人科)
- ・2023年度 出月賞受賞者:千葉 時七氏(四谷メディカルキューブ きずの小さな手術センター 外科・内視鏡外科、現所属:IMSグループ 明理会東京大和病院 消化器外科)  
[論文名] Rouviere 溝の形態分類ー腹腔鏡下胆嚢摘出術 252例の検討  
[掲載号] 日本内視鏡外科学会雑誌 第28巻4号【原著】
- ・2023年度 カールストルツ賞受賞者(第36回日本内視鏡外科学会総会)  
岡村亮輔(京都大学医学部附属病院消化管外科)  
『当科のConsole surgeonへの修練2023 -技術認定試験から繋げる若手教育-』  
栗山直久(三重大学肝胆膵・移植外科)  
『膵頭十二指腸切除における開腹、腹腔鏡、ロボット手術の周術期短期成績の比較』  
羽田智則(四谷メディカルキューブ婦人科)  
『vNOTESで付属器腫瘍手術、子宮筋腫核出術はどこまでできるか』

#### 7. 定款第4条(6) 国民に対する内視鏡外科診療に関する情報の提供

- ・ National Clinical Database (NCD) に参加しロボット支援手術の症例登録のデータベース事業に協力した。2023年からは、食道・胃・大腸・膵臓・呼吸器外科領域・婦人科領域においてNCD症例登録が術後登録のみとなった。
- ・ 令和6年度診療報酬改定に向けて外科系学会社会保険委員会連合(外保連)に参加した。
- ・ 2023年1月に「ロボット支援手術のNCD症例登録および日本内視鏡外科学会施設登録に関して」を改定した。
- ・ 2022年12月および2023年3月に「消化器外科領域ロボット支援内視鏡手術導入に関する指針」を改定した。
- ・ 2022年12月に「ロボット支援下膵切除術導入に関する指針」「ロボット支援膵切除術(暫定)プロクター基準」を改定した。
- ・ 2022年12月に日本肝胆膵外科学会とともに「ロボット支援下肝切除術導入に関する指針」を改定、2023年3月に「ロボット支援下肝切除術(暫定)プロクター基準」を改定した。
- ・ 2023年3月に「消化器外科領域ロボット支援内視鏡手術新機種導入時の学会認定術者・プロクターに関する指針」を発出、9月に改定した。

#### 8. 定款第4条(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・ 財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・ 事務局員のリモートワークを継続した。